

さわらび

2019. 5. 20 No. 7 文責：大塚

緊張した！ がんばった！



5月17日（土）、土曜授業として道徳教育参観日と修学旅行報告会を行いました。当日は、民生委員さんや学校運営協議会委員さん等にご案内していただいたところ、9名もの方に来ていただき、保護者4名と一緒に最後まで参加していただきました。



修学旅行報告会では、生徒1人1人が工夫したプレゼンテーションを行いました。準備の段階では、どんな伝え方をするのかを工夫したり、「聞き手を意識した視点」を考えて修正したりしてきました。

参観者に書いていただいた感想を紹介します。

【佑希くんへ】

とてもゆっくり丁寧に話してくれて、真面目さが伝わってきました。いろいろな質問にもきちんと対応していました。修学旅行の流れが写真でよく分かりました。「お・わ・り」を写真で作っていたのは、おもしろかったです。

【虎次くんへ】

始まりのテーマ音楽と時々聞こえる音楽がよかったです。写真の撮り方に動きが感じられて、とてもよかったです。クイズの出し方もおもしろくて、吹き出しも工夫していて楽しかったです。

【航聖くんへ】

話し方もとてもゆっくりで、写真と合わせて聞きやすかったです。写真の中のコメントも工夫されていてよかったと思います。一番最初に発表するのに、落ち着いて一生懸命話してくれてよかったです。

【花奈さんへ】

中学生女子ならではの都会の印象が、とてもほっこりしました。学習（地震）との組み合わせもよかったです。自分の感想がとても表現豊かで、楽しかったことが伝わってきました。

感想の中にも書いていただいたように、自分のとらえ方を自分の言葉で語る内容となっていたことが印象的です。

「自分の言葉で語ること」

これからもいろいろな取組の中でその力を伸ばしていってほしいと思います。

ワイワイ、楽しく、研修しました！



左に紹介した道徳教育参観日・修学旅行報告会を行った5月17日（土）は、午後から四万十市小中学校PTA連合会総会・研修会もありました。本校からも保護者の外田さんと川村さん、管理職2名が参加しました。

総会の後の研修会では、諏訪清二先生（防災教育アドバイザー・コラボレーター）と中野元太さん（京都大学防災研究所）による講演、グループに分かれてのワークショップを行いました。

諏訪先生には、本校の生徒たちが4月の修学旅行でお世話になったばかりです。また、実施したワークショップは、昨年1月に本校の防災参観日で生徒・地域の皆さんで体験した内容でした。（外田さん・川村さんは、そのときは防災食の準備をしていたので初めてです。）とても楽しく、にぎやかに、そして真面目に各自の取組や考えなど出し合っていました。また、最後に各グループの話された内容を全体に発表しましたが、これも外田さんが行ってくれました。



5月16日（木）、「はるかのひまわり」の種まきを行いました。学校支援地域本部コーディネーターの谷崎さんが、「ひまわり栽培に詳しい地域の人を紹介しちゃうけん」とつないでくれ

たのが西村光平さんです。

この日、西村さんにいろいろ専門的に習いながら、「200粒の苗を育てよう」と種をまきました。本校の卒業生でもある西村さんからは、「藤岡中にかかわれてうれしい」「発芽の様子、生育の様子、アルミ缶置き場への定植の様子など、時々寄らせてもらいます。」とも言っていました。

これからも地域とのつながりの中で取り組んでいきます。



「グラウンドの草引きにも来るけんねえ。グラウンドゴルフのメンバーにも声をかけようけん。」5月18日の参観日に来てくださった方から、こういう言葉をいただきました。▼修学旅行報告会の講評の中でも話しましたが、生徒数4名・常勤職員6名の学校にとっては、地域の皆さん、保護者のみなさんが学校に立ち寄ってくれることは、本当にうれしく、ありがたいです。「次は、7月13日に救命救急講習をやりませう。また、来てください。」と、皆さんの都合も間かずにお誘いしました。▼「人間は人と人との間で生きる」よく聞くフレーズですが、本校の生徒たちがよく元気にたくましく、しなやかに育つためにも、人と関わる環境は大切です。▼今年度も総合学習やいろいろな学びで、地域の方々にお世話になります。つながりはぬくもり。どうぞよろしくお願いいたします。（お）